

計画事業番号	00808	事務事業名	平和推進事業	担当部署	市民環境部市民課	電話	2303
--------	-------	-------	--------	------	----------	----	------

## 【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	平和都市宣言			
事務事業開始年度	昭和63年		個別計画等				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章)	美しい環境につつまれた安全なまち
	(第 9 節)	平和と人権尊重社会の推進
	(施策 1 )	恒久平和の希求
2 対 象	市民及び市内在学の小・中・高校生	
3 目的と内容	「平和都市宣言のまち」ならびに平和首長会議の一員である本市として、市民一人ひとりが平和の尊さ大切さを認識し、恒久平和の実現を祈念することを目的として普及・啓発事業を実施する。	
4 実施内容 (手 段)	2 8 年 度 ま で	平和の灯火種保守管理委託 きたヒロシマ平和展(パネル展)の開催(エルフィンパーク) 平和の灯記念事業の開催(平和の灯を守る市民の会との協働・芸術文化ホール) 市内小・中学校、高校へのパネルの貸出 平和の灯の分火(さっぽろ元気まつり実行委員会) 平和の灯折鶴送付
	2 9 年 度	これまでの事業を継続して実施し、市民の平和意識の醸成を図るほか、平成30年度は平和都市を宣言してから30年目の節目の年となることから、平和都市宣言30周年記念事業について検討を行う。

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
「平和の灯」火種の保守管理 きたヒロシマ平和展の開催 「平和の灯」20周年記念事業の開催 平和パネルの貸出	「平和の灯」火種の保守管理 きたヒロシマ平和展(8/19～8/22エルフィンパーク) 「平和の灯」20周年記念事業の開催(平和の灯を守る市民の会・広島市との共催 原爆展 8/24～8/28、平和の絵作品展 8/10～8/17、講演会8/28・29) 平和パネルの貸出	「平和の灯」火種の保守管理 「平和の灯」火種移設 きたヒロシマ平和展の開催 平和の灯記念事業の開催 平和パネルの貸出	「平和の灯」火種の保守管理 きたヒロシマ平和展の開催 平和の灯記念事業の開催 平和パネルの貸出	「平和の灯」火種の保守管理 きたヒロシマ平和展の開催 平和の灯記念事業の開催 平和パネルの貸出

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	平和都市宣言のまちとして、平和の尊さ大切さを啓発していくことが大切であり、一人でも多くの方が参加してもらえるような記念事業等を企画し、平和活動を継続していく。 また、平和都市を宣言してから30年目の節目の年となることから、平和都市宣言30周年記念事業を実施する。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

「拡大」  
「現状継続」  
「要検討」  
「見直し」  
「統合」  
「休止・廃止」  
「終了」

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			84		178		96		96	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	84		178		96		96	
	① 合計	84		178		96		96		
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.70	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	5,880	0	2,520	0	2,520	0	2,520	0	
総事業費①+④			5,964		2,698		2,616		2,616	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①きたヒロシマ平和展	目標値	日数	7	7	7	7
		実績値		4			
	②パネル貸出事業	目標値	件	5	5	5	5
		実績値		3			
③平和の灯記念事業参加者数	目標値	人	400	400	400	400	
	実績値		1206				
成果指標	④	目標値					
		実績値					
	①	【指標の定義(算式等)】	目標値				
		実績値					
	②	【指標の定義(算式等)】	目標値				
		実績値					
③	【指標の定義(算式等)】	目標値					
	実績値						

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	平和都市宣言のまちとして、恒久平和の実現に努め、平和意識の啓発や、平和について考える機会を提供することは責務であることから、事業そのものの妥当性や有効性は確保されている。また、市民を対象に事業を実施しているため、特定の個人や団体に偏っていない。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	平和推進事業への参加者は高齢者が多く、戦時体験の記憶がますます風化していく中、戦争を知らない世代に平和の尊さ大切さを引き継いでいくことが重要である。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	一人でも多くの方に参加してもらえるような平和関連事業を企画し、平和の大切さや戦争の悲惨さ、命の尊さを次世代に伝えていく必要がある。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	最小限の費用で平和推進事業を実施しているため、削減余地はない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--